

第2学年国語科学習指導案

日時 平成21年 11月20日（5校時）

児童 2年1組男子17名 女子16名 計33名

指導者 中村世津

1 単元名 ようすを考えてよもう

教材名 「お手紙」

2 単元について

(1) 児童観

子ども達は、国語の学習については、全般的に意欲的である。

これまで、学習してきた教材では、言葉の意味を獲得させたいと願い、音読の工夫、視写、学習形態の工夫、指導課程の工夫、児童の言葉を耕す発問の工夫に全力を上げてきた。さらに①言葉あそび ②50の詩（視写・暗唱） ③読み聞かせ ④ステキな言葉集め等に取り組み、その児童らしい生活語彙の豊かさを育てる学習を重ねてきた。子ども達は、そうした学習の中で、叙述や挿絵を手がかりに、自分なりの言葉で、話したり書いたりできるようになってきている。

しかし、想像を広げる学習では、一人の読みを、学級の中で共有し、学級全体のイメージを豊かにしていくことに困難を感じる時がある。イメージの伴わない言葉に沈黙するときがある。教師と一人の児童のイメージの共有に終わってしまうことがある。これは、児童一人一人の言葉の獲得の質と量の違いが原因ではないかと考える。

(2) 教材について

国語科第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにすると共に、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。

本教材「お手紙で」育てたい主となる能力は「ウ物語の様子などについて、想像を広げながら読むこと」である。

本教材は、アーノルド＝ローベルの有名なシリーズのなかの1編である。このシリーズは、がまくんとかえるくんのほのぼのとした友情が全編にわたって描かれている。シリーズ40編で1作の物語ともいえる。その中で、「お手紙」を教材にし、様子を考える力を伸ばすことは、次の点で効果があると考えられる。登場人物が3人に限られている。事件が起きる場所が、がまくんとかえるくんの家である。時間が4～5日の間である。この限定された設定の中で人物の様子を読み取ることは、2年生の子ども達にとって、適度な難度もあり、手応えを感じ、なおかつ上質のユーモアを味わいながら読み進めていくことができる。

さらに、物語は、会話で話が展開していくが、そこに光るように書き込まれている人物の行動が、様子を想像する手がかりとなる。行動を手がかりに、人物の様子を想像し、生きている言葉を獲得しながら読んでいくには、すぐれた教材である。ここで培われた、生きている言葉で様子を読む力は、他の文章を読んでいくときにも転移する力となっていく。

(3) 指導観

子ども達、一人一人は、イメージの伴った、生きている言葉を獲得し、相手に働きかける言葉を持つことが必要である。今、現在の子供達には、その部分が不足している。そして、聴く児童も受け手として、相手の言葉を受け取り、自分の想像を鮮明にする。それができたとき、一人一人のイメージの重なりが増え、生きている言葉による学級全体の想像する力を

育てていくことができる。本格的に、様子を想像する力を育てることについては、今がスタートだといえる。そのために以下のような手だてを取る。

- ① 児童が、自分の言葉で語りたいと思えるよう教師が、最良の聞き手であることに努める。
- ② 生きている言葉に対して、敏感になるようにし、児童のイメージを重ねるような発問を用意する。そうすることにより豊かに想像できる学習になっていく。
- ③ 聴く力を育てるために、挿絵の有効な用い方を工夫し、聴くときの指示をわかりやすく与え、友達の意見を共感的にイメージを鮮明にしなが聴くことができるよう働きかける。
- ③ 「お手紙」の概観をとらえる学習を豊かにする。この物語は、シリーズ物であるために、人物、時、場の設定が書かれていない。そのため、粗筋を把握した上で、挿絵、文を手がかりに登場人物、時、場所の設定をとらえる。生きた言葉の獲得する序章である。この学習により、場面の読み、広げる段階の読みが豊かになる。
- ④ 人物の行動に着目させ、様子をとらえる学習を進めていく。挿絵、動作化、文章を関連付け必ず言葉で表現させていく。生きている言葉が生まれる。
- ⑤ 獲得した言葉を用いて、自分のがまくんとかえるくんの短編の物語を書かせたいと考える。

3 単元の目標

- (1) 国語への関心・意欲・態度
 - 物語を楽しみながら読もうとしている。
- (2) 読む能力
 - ◎ 人物の行動を手がかりに人物の様子を読むことができる。
 - ◎ 言葉には、多くの意味があることに気をつけながら読むことができる。
- (3) 言語についての知識理解
 - 文中におけるやや複雑な主語と述語の関係に注意する。

4 指導計画（「読むこと」9時間）

過程	学 習 内 容	(時数)
見 通 す	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字・難語句の学習 (1) ・「お手紙」を概観し、粗筋をとらえる。全体の学習計画を考える (1) ・人物・時・場の設定を読み取る。・学習課題をもつ (1) 	
深 め る	<ul style="list-style-type: none"> ・二人ともかなしい気分でげんかんにこしを下ろした様子を読み取る。(1) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんが、大いそぎで家に帰り、手紙を書く様子を読み取る。(1) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ふてくされているがまくん、なだめるかえるの様子を読み取る (1) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の内容について知り二人とも幸せな気分でげんかんにすわる様子を読み取る。(1) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・4日待つ二人の様子を想像する。(1) 	
確 か め る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけのがまくんとかえるくんのお話を書く。(1) 	

5 本時の指導

(1) ねらい

読む能力

- ・「お手紙」の人物、場、時を考え物語の設定を読み取り、学習の大きな目的をとらえる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ◇評 価
見通す	1 人物、場、時について考えていくことを確認する。 だれ、いつ、どこ	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵が大きな手がかりになることを示唆する
深める	2 全文音読 3 物語の設定をとらえる ・人物を考える ・時を考える ・場を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・個人読み ・登場人物についてノートに書かせる。 ・心が動いている人が登場人物であることを確かめるさせる <p>◇ 主な登場人物をとらえることができたか。 (ノート、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節と何日間ぐらいのお話かについてノートに書かせる。 <p>◇ 曜日と関連づけて、何日間の話かとらえることができたか。(ノート、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまくんの家限定して、家の中にある物を想像できるようにする。 ・がまくんの家にあるものをノートに書く。 <p>◇ がまくんの家の中のイメージができ、生きている言葉で想像できたか。 (ノート、発表、表情、態度、)</p>
まとめ	4 「お手紙」の全体の課題をもつ。	<p>人物、時、場を底流におきながら、挿絵2枚を比較し、ちがいを発見させ、なぜこのようになっていったかという大きな課題をとらえさせる。</p> <p>◇違いを1つでも見つけ、読む目的をとらえられたか。 (ノート、発表、表情、態度、)</p>